

三原台中学校PTA緊急アンケート結果報告

- 期間

2020年12月9日（水）～2020年12月16日（水）

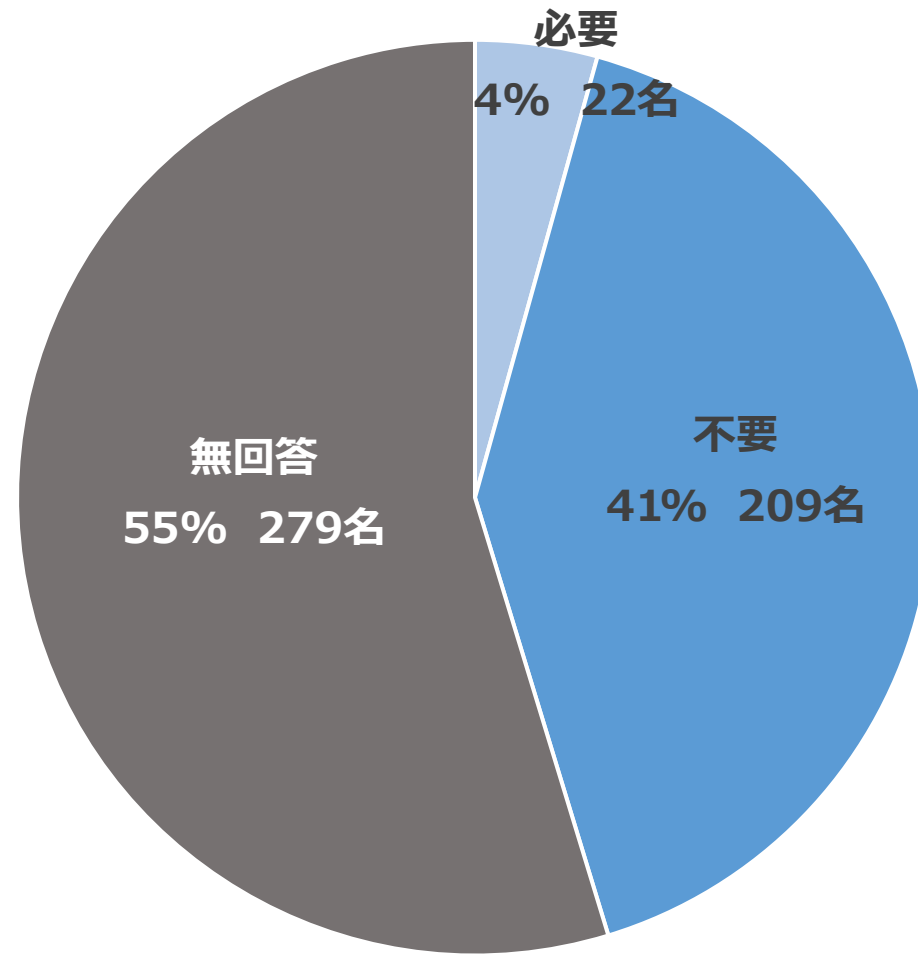
- 対象

教職員 26名 保護者 家庭数484世帯

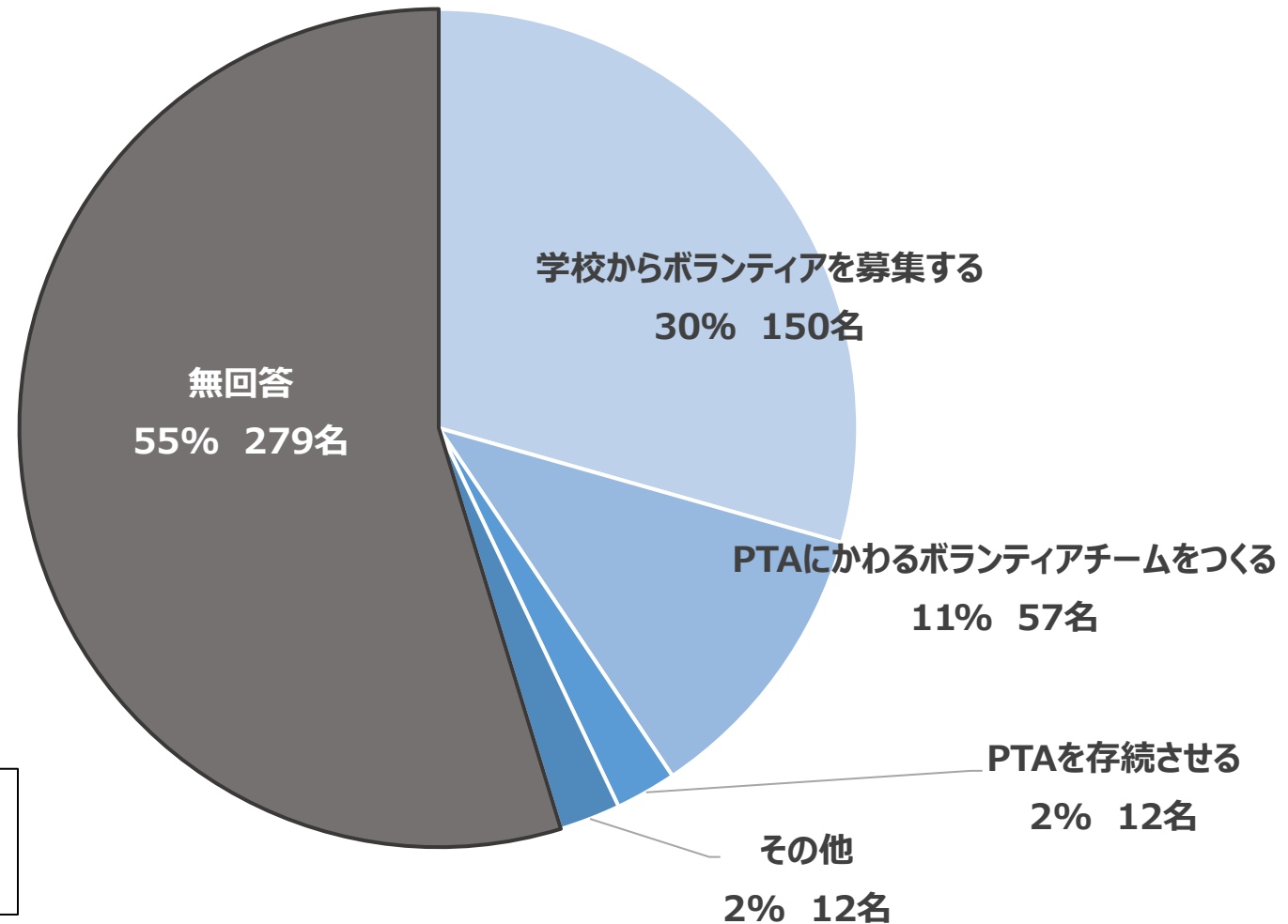
- 回答数（回収率）

教職員 23（88%） 保護者 208（42%）

PTAは必要だと思いますか

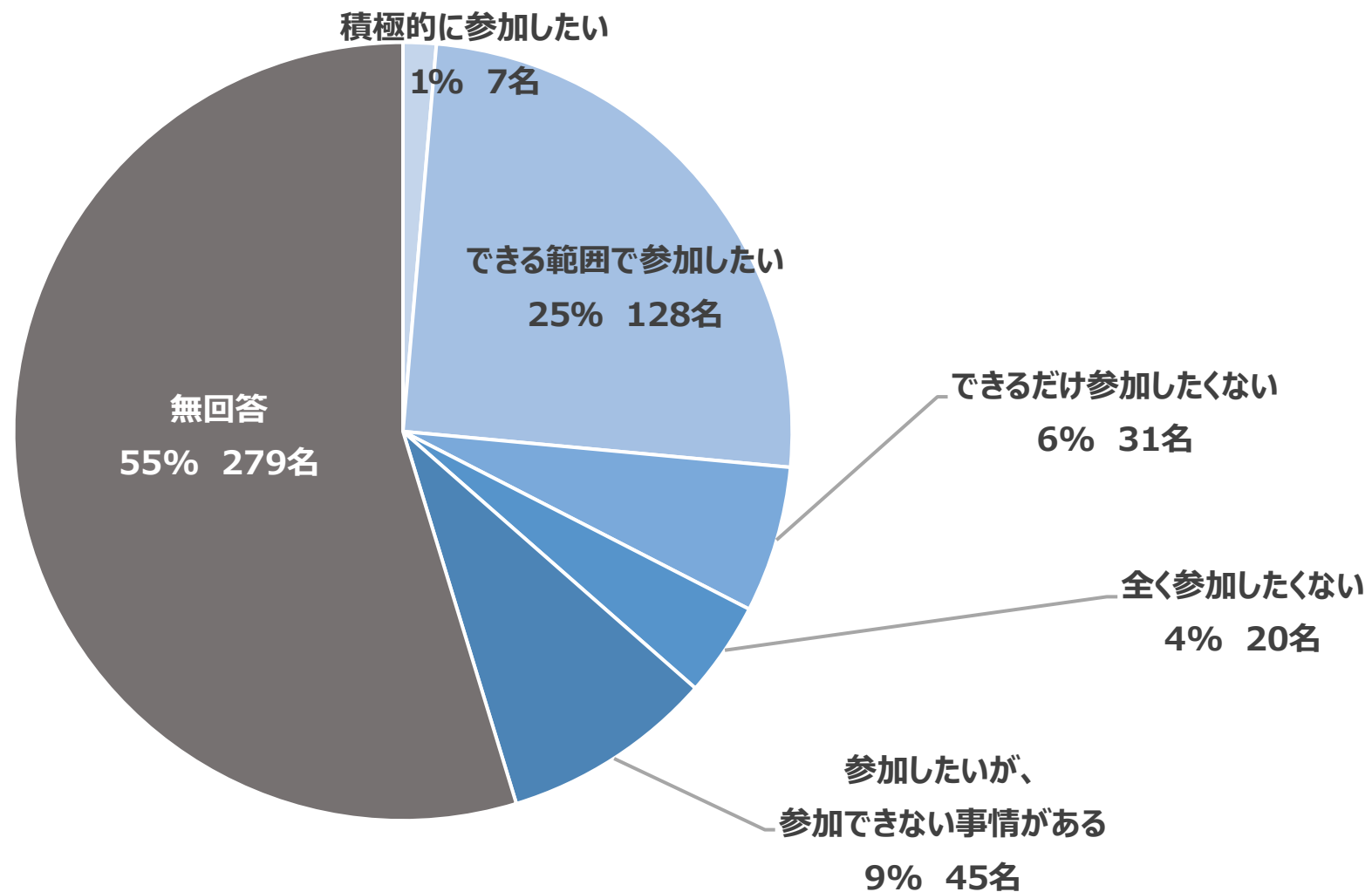


PTAの今後について賛成できる案を選択してください



「その他」につきましては、5ページ以降の「貴重なご意見に対するのアンサー」に記載しております

ボランティア募集があった場合、活動に参加できますか



★貴重なご意見に対するのアンサー★

◆選択肢 2 番目（ボランティアチームを作ること）に賛成ですが、その際、参加は必ず任意であることが必要です。また活動内容も、集まった人数ややりたいことにより、柔軟性を持たせる。また人数が集まらない場合はその年度はボランティアはなくてもよい。というように、任意性の確保は必須です。

→任意性の確保賛成です！集まった方々でやりたいことを考えて柔軟性を持って活動していくことも素晴らしいと思います。近年も役員になった人達でできる範囲の活動に移行してきております。ただ、PTA活動というのは本来、保護者と教師が一体となって子供たちをいろいろな障害から守ることが目的です。子供たちの安全確保のために必要な活動もあります。（運動会、合唱コンクールの案内誘導・受付・警備、学校公開の受付等）ボランティアがないからなくすということができないものがあることはご了承ください。

◆PTAをなくして、必要な仕事のみ賃金を払って依頼する。

→賃金はどこから支払われるのか、学校や練馬区からの支払いは難しいと思います。在校生の保護者から徴収した金額からお支払いすることにするのか検討が必要です。

◆行事の手伝いなら都度学校から募集、あるいは年度当初の保護者会で決めればよいと思います。他にも仕事があるのか、あるならどんな仕事があるのか伝わっていないので他に考えようがありません。そこが問題だと思っています。

→年度当初の保護者会で手伝いを決める方法は、今までと同じですが「委員」ではなく「お手伝い」と思うと気軽に参加しやすくなりそうですね。昨年までのPTAの活動報告は「PTAの手引き」「定期総会の活動報告」として書面で配布されています。ご確認ください。

◆現段階でPTAをなくす決定してしまうのではなく、まず 1 年間、別の方法（1もしくは 2 の案）を試してから、再検討するというのはいかがでしょうか？

※ 1 案 学校からボランティアを募集する

2 案 PTAをなくしボランティアチームを作る

→その方法も検討しましたが、中学校は 3 年間と短くお試しに 1 年を費やしてしまうと中途半端な状態のまま引き継がれてしまわないか心配です。在校生保護者の意見を聞いて決定するために今このようなアンケートを実施しております。

◆役職に 1 人～ 2、3 人という人数だと負担が大きくなり、なり手がなく不足状態での活動になってしまうと思うので、1 人を 3 人、2～3 人のところを 4～5 人等の複数にして、出来ない部分を補える体制に変えての存続はできないでしょうか？実際に私自身も全ての役割を全うできるとは思わないので、「やりたくない、手は上げない」という感じです。

→現在の三原台中学校の役員の仕事は平成 30 年度から役割を削減しスリム化されています。係も見直して少人数になっています。

◆本当は必要だと思います。しかしPTAと聞くと、少人数多業務のイメージにつながるので、PTAという名目ではなくクラス係として細分化してみるのはいかがでしょうか？

→「PTA」という名称はイメージが悪いかもしれません。クラス係といわれると少しハードルが下がった感じがしますね。

◆学校にボランティア募集の負担をかけるのは本意ではない。現在のPTA活動を見直し、教育活動に必要なものだけを残して活動する。まとめ役は必要だが、現在の会長職のように他校PTAとの会議等、時間的拘束や負担が大きいものは廃止する。

→学校の負担を大きくすることはできればたくないです。時間的拘束や負担が大きいものは廃止する！賛成です。

◆PTAの仕事を在校生の保護者に割り振ったらどうでしょう？仕事によっては地域の方や卒業生保護者にお手伝いいただく。

→ここでいうPTAの仕事とはPTA役員の仕事でよろしいでしょうか。お手伝いして下さる方がいらっしゃればぜひお願いしたいです。そのようなシステムを作る方法もありますね。地域の方々や卒業生保護者にお手伝いいただけたらありがたいです。

◆PTAは必要ない

→そうなのかもしれません。

◆コロナ収束まで休み

→それも一つの方法だと思います

◆1人1役1年に1回必ず何かしらの役割を果たす

→今まではそのようにやってきたと思います。これは平等で良いと思いますが年1回の活動すら困難な方もいらっしゃると思います。時代に合わせて変化していくことも考えていきたいと思っています。

◆PTAは（PTAという名でなくてもいいですが）存続させるなら、楽しくなくちゃと思います。やりたいことがある人が、やれる人が、都合を合わせて、子供のためになることを楽しく行う。そうすれば、無理なく、親同士の親睦もはかれますし、情報交換の場にもなります。三原台中は仕事が少なくて良いとは思いましたが、楽しんで自らやってる感はありませんでした。何が何でも全員参加しないでもいいのでは？PTAは任意のボランティア団体ですので、そこに立ち戻ると良いと思います。かと言って全て否定しているわけではありませので、制服リサイクルではお世話になりました。ありがとうございました。

→最近では強制に近くなっておりますがPTAはあくまで任意加入のボランティア団体です。やれる人がやれることを楽しくやるのが理想です。そしてそれは子供たちのためにやることです。保護者の活動ありきではなく、子供たちのために親として何ができるのか、何をすれば良いのか、そこに立ち戻れたらと思います。

◆1年固定となると、かなりの覚悟がいります。ボラが必要な時は、クラス単位などでその都度募集（先生の負担が増えない方法で）でも良いのではないのでしょうか？

→はい、覚悟がいりました。クラス単位での都度募集良いと思います。先生方の負担が増えないような方法を考える必要はあると思います。

◆PTAという名称にこだわらず、できることをできる範囲でやっていく方向に進んでいくといいなと思います。PTAという言葉にアレルギーがある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。子供たちが楽しく安全に過ごすために必要なことは残し、合理化できる点は合理化して進めていく工夫や働いていても参加しやすい工夫ができるとよいと個人的には思います。

→できることをできる範囲でやっていくのがよいと思います。合理化して誰もが参加しやすくなれば活動してくれる方が増えてよりよくなると願っております。

◆いつも決まった層の方のみの参加になってしまっており、又、役員の方々の負担が大きく、それにより新たな役員希望者が乏しくなっているのではないかと思います。昨今では共稼ぎ、フルタイムでの就業をしている保護者も多く、役員としての活動をする時間の余裕がないのではないかと思います。活動内容の縮小等を視野に入れ、PTAの役割について今一度見直す必要があるのではないのでしょうか？又、出来る事ならば保護者全員が平等に参加できるような仕組みが出来たら一番なのではないか…と思います。

→PTA役員というものに手を挙げづらい状況になってしまっているのはわかります。仕事をしながら役員というも時間的に厳しく余裕がなくなります。その為に今このようなアンケートをとり見直ししているところです。保護者全員が平等というのは難しいかもしれませんが、誰もが気軽に手を上げ参加できるようになればと思っております。

◆社会の変化に伴い、多くのPTAは、強制に近い入会方式、家庭の事情を考慮しない役員決め、毎年難航する推薦活動等の問題を抱えています。解決策の1つとして、PTAをなくしボランティア募集への移行は良い案だと思います。強制される活動よりもできる人ができる時に参加し、学校の手伝いや子供達の安全を守れるなら、それが一番良いと思います。保護者や地域の方々が進んで活動する姿を子供たちに見せる良い機会になるのではないのでしょうか。

→おっしゃる通りだと思います。ぜひ率先してそういう姿を子供たちに見せていきたいです。

◆やりたい気持ちはあったものの、トップになるのだけは本当に嫌だったので結局躊躇ってしまっていました。毎年どこの学校でもあんなに決まらないのだから、もう無理なんだと思います。

→やりたいという気持ちをお持ちいただけていることに感謝します。ぜひその気持ちを今後の活動に繋げていただけたらありがたいです。

◆可能ならPTAを存続した方が良いと思いますが、役員が決まらなければボランティア活動とするのも仕方ないかと思います。

→役員選出は毎年難航しております。この状況、システムは変えなければならぬと思います。

◆アンケートNO.2の上2つの違いがよくわかりませんでした。

→①は学校からボランティア募集をする（先生方が主導）

②PTAに代わるボランティア団体からボランティア募集（PTAに代わる団体組織の保護者が主導）

◆いつもご尽力くださりありがとうございます。質問1,2についてPTA活動は、何よりも現在在籍している子供たちの利益のために行われる活動と理解しております。役員人数が少ないと負担が増えますが、親の代わりに地域の方や卒業生の保護者をお願いすることで将来的に予期せぬ利害関係などが発生しないか心配します。（もちろん皆さま善意で参加してくださいと存じますので杞憂かと思いますが）現保護者で無理なくできる範囲に活動をスリム化するのはいかがでしょうか。また子ども達を取り巻く大人が一体となって見守る観点から、もし先生達の業務を圧迫しないような形であれば、教職員の方々にもご協力を頂きたいです。PTAという形でなくても、どちらかといえば現保護者と教職員が主なメンバーとなる活動をイメージして選択しました。質問3について前回のアンケートにてボランティア形式にしてはとのご意見が複数あり、私もできる限り参加させて頂きたいと思いますが、ボランティアを募集し、取りまとめ、実行する立場の人は必要になります。この作業をメール配信等で簡略化したり分担したりすることができれば、負担を少しでも減らせるのではないかと思いますがいかがでしょうか。1年生親のため活動の内容・大変さがわからず、検討違いな意見でしたらご容赦ください。

→的確なご意見ありがとうございます。現役員も同じようなことを考えております。活動する方々の幅が広がると予期せぬ障害が発生する可能性もゼロではありません。教職員の負担も増やしてはいけません。その中で子供たちに何ができるのか、皆様のご意見を聞きながら少しでも良い方向に進むことが出来たらと思っています。

◆こんにちは。こういった状況では致し方ないと思います。

→貴重なご意見ありがとうございます。

◆コロナで大変ですので、しばらくはPTAはお休みにした方が良くと思います。

→しばらくお休みというのも一つの方法ですね。

◆コロナで色々不必要、余計だった事が分かったのだからこのままなくなればいい

→皆様のご意見を伺いながら検討して参りたいと思います。

◆存続を議論するならPTAの活動内容を明確に伝える必要があると思います。その上で、全員参加ではなくあくまでもボランティア、自由参加という選択肢も含めて議論する必要があるのかなと。PTAの恩恵を受けるのは生徒全員であり、活動する側はボランティア、自由参加というのが理想ではないかと思えます。それで存続できないならPTA自体無理があるのでしょうか。先生方のご負担を減らしたい、子供たちの中学校生活をより充実させたいと願う親は多いと思うので、今までのPTA活動に拘らずできる人ができることで協力していけたらいいなと思えます。今回このような改革に取り組んでいただきありがとうございます。ものすごくパワーのいることだと思います。数年後には下の子が入学します。その時の三原台中学校PTAの姿に期待しております。

→今年は活動していませんが、昨年までのPTA活動内容は毎年「PTAの手引き」「定期総会の活動報告」として書面で配布されていますのでご確認ください。子供たちのために保護者として何ができるのか、前向きに参加して下さる保護者が増え活動できればと思っています。下のお子様が入学したときには理想的な形になっていることを願います。

◆働き方や家族のあり方が変化してきており、私達の子供時代よりも保護者にPTA活動に参加する余裕がなくなっているように感じます。私自身も、自身がひとり親ということに加えて、加齢による自身の健康問題、親の介護など、同時に多くの問題を抱えており、とても参加できるような状況ではありません。大変申し訳ございません。書面やネットによる総会、このような空き時間でできる書き込みでの意見交換、等々、これまでの常識を変えるような活動方法の検討が必要だと思われます。現在のPTA役員の方々には多くのご負担をおかけし、お手伝いできないことを大変心苦しく感じております。心から感謝申し上げます。

→ありがとうございます。皆さまいろいろな事情があり役員活動が難しい方もいらっしゃると思います。皆平等に…は平等ではないのかもしれませんが、できる人ができる時に前向きに関わることができればよいと思います。

◆いつも子供たち、保護者のために活動していただきありがとうございます。

→ありがとうございます。活動を通し学校や子供たちと深く関わることができ、保護者の皆様の思いもお伺いすることができました。少しでもより良い方向に進められればと思います。

◆PTAに参加することで、保護者の皆さんは、更にこどもの成長に関わることができますから、とても興味があることだと思います。

→ありがとうございます。義務教育最後の3年間、親として子供のためにしてあげられることをする。有意義な時間だと思います。

◆前回のアンケートでも意見を書きました。ボランティアという形が理想だとは思いますがなかなか集まらないような気がする。どうしたらよいのでしょうか。妥協案が決まるとよいのですが…

→前回今回とアンケートへの書き込みありがとうございます。これだけ多くの方が書き込みをしてくださっています。ボランティアという形になっても多くの方が参加してくださると願っています。ぜひご参加ください。

◆ボランティアを募る時や企画が教員主体になってしまうのは…心配です。

→教職員の皆様の負担が増えないように方法を考えていきたいと思っています。

◆PTA活動の意義は理解するが活動内容に無駄が多いと感じる。また活動時間の設定などを見ると旧来の専業主婦が活動する前提が残っているようで、共働き家庭では協力しにくい。年度当初の保護者会で役員や係の選定に戦々恐々としてしまうので、積極的に参加できる活動形態や内容になってほしい。

→年度当初の保護者会での役員決めは本当に苦痛です。いつから？なぜ？このような感じになってしまったのでしょうか？役員の活動時間はかなり変化してきています。現役員に専業主婦はいません。皆仕事を持って活動しております。自分たちの動ける時間帯に活動しています。役員になった方々が自分のやりやすいように変えていくのがよいと思います。

◆結果のご意見にもありましたが、無償ではなく、少ない額でも有償にすることはできないのでしょうか。

→PTAはそもそも子供たちのために活動する任意加入のボランティア団体ですので有償とするのは難しいと思います。お金はどこから支払われるのかは問題です。（練馬区や学校からは難しいと思います）それに伴い会計、会計監査も必要になります。

◆余計なことかもしれませんが、PTAのないことのデメリットを保護者の方にわかってもらってから、廃止した方がよいと思います。

→PTAがないことのデメリットはあるのかわかりません。強いて上げれば、PTA活動を通じた区への予算要望がしづらくなる、中P連駅伝大会に参加できなくなる可能性がある等があげられます。PTAがない状態を何年か継続することで浮き彫りになっていくのかもしれませんが。